

行政評価シート【重点戦略】

重点戦略３－（１）

健康で元気に活躍する

基本的な方向性

- 健康意識を高め、自らの健康について考え、取り組む機会を提供します。また、それぞれの希望に合った活躍の場、機会を創出します。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
フレイル★ ¹ チェック参加者数 【累計】	505 人	1,779 人★ ²	2,457 人			3,030 人
生きがい事業団新規入会者数 【累計】	－	157 人	329 人			750 人

★¹ 加齢に伴い心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態のこと。

★² フレイルチェック参加者数の 2024 年度実績値に訂正があることが判明しました。訂正内容については次のとおりです。 【訂正前】2,275 人 → 【訂正後】1,779 人

戦略推進のための主な取組の「成果」

- ・各種講座やフレイルチェック測定会、オーラルフレイル予防教室などを開催しました。また、高齢者のオーラルフレイルや全身のフレイル予防を図るため、産官学民連携によるオーラルフレイル地域集中啓発を行い、関心がない方にも認知度が広がるよう取り組みました。
- ・生きがい事業団の円滑な運営のために補助金を交付するとともに、会員数の増加及び就業機会の拡大に向けたPR活動に対する支援を行いました。
- ・既設１８地区の町内福祉村の新たな活動や取組を支援したほか、SNSの活用やパネル展の実施等により、地域福祉活動の周知・啓発を行い、活性化を図りました。また、１地区において町内福祉村の新規開設に向けた検討を開始しました。
- ・平塚市老人クラブ連合会と「スポーツ大会」や「福祉大会」等を共催し、クラブ活動の活性化を図りました。また、単位クラブに対して財政的な支援を行うことにより、各地域における交流や社会参加を促しました。また、市民の老人クラブへの関心を高めるため、会報誌の発行や「趣味の作品展」の開催などにより、クラブの活動を市民にPRしました。
- ・平塚高村団地及びその周辺地域において、南街区では、令和７年７月に医療機関、８月に介護

老人保健施設、令和８年２月に介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が新たに開設しました。また、北街区では、ＵＲ都市機構が土地譲受事業者の公募手続を進め、令和７年９月に事業者が決定しました。

戦略を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・健康長寿の延伸を目指し、口腔機能の向上や全身フレイルの予防が必要です。
⇒高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を踏まえながら、健康チャレンジの普及啓発事業では、専門性の高い内容に特化して推進していきます。フレイルチェック測定会等の充実を図るとともに、オーラルフレイル地域集中啓発を展開することで、より多くの高齢者に自身の状態に対する気づきと改善に向けた行動を促します。
- ・働く意欲のある高齢者がそれぞれにあった働き方で活躍できる環境が必要です。
⇒生きがい事業団の事業計画等に基づく取組に対する支援や情報提供、補助金の交付等により、その運営を支援するとともに、ハローワーク等関係機関との連携によって就業機会の確保を図ります。
- ・町内福祉村への参加ボランティアの固定化・高齢化が進む状況の中、町内福祉村に対して新しい取組や連携を促進するとともに、町内福祉村が未設置の地区については、新規開設に向けた地域での検討を活発化する必要があります。
⇒様々な機会をとらえて地域福祉活動の周知啓発を進めて、町内福祉村の新設を促進するとともに、各町内福祉村や他市での地域福祉活動事例等を積極的に共有し、新たな取組を喚起・提案します。
- ・高齢者の活動の多様性を踏まえた魅力ある「ゆめクラブ」（老人クラブ）となるよう、活動内容の再考、新規会員の確保及び会員の退会防止対策が必要です。
⇒加入促進委員会を中心に、新規会員の確保及び会員の退会防止対策を検討するとともに、イベント等を通して、継続的に「ゆめクラブ」の魅力をＰＲします。
- ・平塚高村団地及びその周辺地域において、ＵＲ都市機構や北街区の土地譲受事業者と引き続き緊密に連携をする必要があります。
⇒北街区の施設内に併設する多世代交流スペースの管理・運営について、土地譲受事業者との連携した取組に向け、調整を進めるとともに、開設された介護老人福祉施設内に併設される「地域交流スペース」の活用について、設置法人と連携して取り組みます。

戦略推進のための「【取組】（事業）」

- 【フレイルに早めに気づくための機会の確保】（一般介護予防事業）
- 【高齢者の多様な就業機会の確保】（生きがい事業団助成事業、就労支援事業）
- 【ＩＣＴスキルを活かせる生きがい就労の支援】（生きがい事業団助成事業）
- 【知識、経験を活かす機会の創出】（地域福祉推進事業、生きがい事業団助成事業）
- 【趣味や学びなどを通じた交流機会の創出】（老人クラブ支援事業、地域の人材発掘・活用事業、地域医療福祉拠点整備モデル地区構想推進事業）